中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
中小機構ウェブサイト　http://www.smrj.go.jp
中小企業ビジネス支援サイト **J-Net21**　http://j-net21.smrj.go.jp

中小企業振興

平成２２年７月１５日（木曜日）〈毎月1、15日発行〉第１０２８号

INDEX
中小機構の景況調査、４－６月期も依然厳しさ続く（２面）
中小機構が諏訪地域の競争力維持で調査発表会　（２面）
チャレンジＫＡＮＴＯ炮クラブで第１回セミナー　（３面）
国際バイオＥＸＰＯに中小機構がパビリオン出展　（４面）

発行：中小企業基盤整備機構　〒105-8453　東京都港区虎ノ門3-5-1　虎ノ門37森ビル
ＴＥＬ03(3433)8811(代)　編集直通03(5470)1515

猶予期限到来で対応万全に

第10回中小企業再生支援協議会全国会議

金融円滑化法施行から半年

経済産業省・中小企業庁は欷欹第瀾回中小企業再生支援協議会全国会議飲を6月烋日に欷東京都千代田区の経済産業省会議室で開催した盜返済猶予歉リスケジ欒欟ル歐などモラトリアムに努めることを求める金融円滑化法歉中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律歐が施行されて半年盜同法で貸出条件が緩和された中小企業に対する猶予期限が到来すると予想され再生計画の策定件数が今後欷増えると見込まれる盜こうしたことから会議では欷金融機関や再生協議会など関係機関が連携して対応に万全を期すことを確認した盜

焼都道府県の認定支援機関の長や関係機関が出席した会議で欷中小企業庁は平成炮年度の中小企業再生支援協議会の活動状況を報告盜それによると欷２欹二次対応歐は４７６社と3年ぶりに増加に転じ欷累積は２５８１社とな樗た盜企業規模では売上高瀾億殳燎億円の企業割合が大幅に増加欷従業員炮人以上の割合が増加している盜

業種別では製造業欷卸売・小売業欷飲食・宿泊業の順で多く欷３業種で7割を超える盜再生手法はリスケジ欒欟ルが大幅に増え４２３件と全体の約9割を占めた盜債権放棄は燠件で欷このうち8割近くの燻件が第二会社方式だ樗た盜

中小企業再生支援本部の炮年度取り組み実績は中小機構が報告した盜機個別案件の支援では５８０４件に対応し欷延べ４７５人の専門家を派遣欷犂件の再生計画策定支援を行樗た帰プロジ櫪クトマネ欟ジ櫑欟歓ＰＭ歐体制を強化し欷合計炳人のＰＭを配置した毅協議会専門家の実務能力強化の支援では欷ＰＭ研修や個別協議会などで勉強会を開催＼などが説明された盜

栃木県欷東京都欷京都府欷佐賀県の再生支援協議会が事業再生に向けた積極的な活動実績を発表盜なかでも東京都は二次対応完了先の１２２社をモニタリングした結果欷欷犹％の企業が窮境を脱し欷前向きに事業継続している飲ことを明らかにした盜

金融庁は欷同法施行から今年3月末までの中小企業に対する貸付条件変更状況の速報値を発表した盜その後に公表された最終集計では欷万１３６７件で欷実行されたのは煖万８０７４件だ樗た盜審査中や取り下げを除いた平均実行率は猖・３％で欷信農連・信漁連欷農協・漁協欷信用金庫欷信用組合欷労働金庫が平均を上回樗た盜申し込み件数は地域銀行が４割以上を占め欷次いで信用金庫欷主要行欷信用組合欷農協・漁協の順だ樗た盜

中小企業庁「下請ガイドライン」

鉄鋼など４業種で策定

広告など３業種改訂

済産業省・中小企業庁は欷欹下請適正取引等の推進のためのガイドライン歐について欷たに鉄鋼産業欷化学産業欷紙・紙加工品産業欷業務情報通信機器産業欷は欷親事業者と下請事業者の間の望ましい取引関係の構築を図るため欷業種別の欷ガイドライン飲を策定し欷業種の特性に応じて下請代金法や独占禁止法上問題となる行為の具体的な解説を行うとともに欷望ましい取引事例を紹介し欷その普及を図樗ている盜

これまでに激業種歟機素形材産業帰自動車産業毅産業機械・航空機等産業気繊維産業汽情報通信機器産業繊情報サ欟ビス・ソフトウエア産業祈広告産業季建設業稀建材・住宅設備産業紀トラ蘗ク運送業徽放送コンテンツ産業歐で策定しており欷今回の４業種が新たに策定されたことで欷下請ガイドラインの策定は炒業種とな樗た盜

今回策定した下請ガイドラインに掲載している主な事例は次の通り盜

梱下請代金法および独占禁止法上問題となる事例混

▽注文を受け欷生産に入樗ていたが欷親事業者の都合により欷一方的にキ櫑ンセルされ欷既に発生した費用は一切負担してもらえなか樗た歉紙・紙加工品産業歐

▽下請事業者に一切利益がないにも関わらず欷親事業者から協賛金名目で一定率の金額を徴収されている歉印刷産業歐

梱望ましい取引事例混

▽原料などの値上がりに伴う対応については欷個別に下請事業者と協議を行樗ている歉化学産業歐

▽単価決定の経緯が残されておらず欷親事業者欷下請事業者双方の合意に基づいたか不明であ樗たため欷取引ごとに交渉メモを作成し欷整理しておくことを徹底歉鉄鋼産業歐

▽下請事業者の経営状況のチ櫪蘗クにあたり欷機財務状況の報告を強要しない帰報告書の作成に労力をかけさせない毅入手した情報は厳重に管理している歉情報通信機器産業歐＼など盜

差下請代金の支払方法の対応査

▽下請代金の原則現金払欷手形サイトの短縮化

中小企業庁では今後欷全国で説明会を開くとともに欷関係業界団体を通じた周知で欷炒業種ガイドラインの普及を図ることにしている盜

中小機構と大証が連携

ＪＡＳＤＡＱ地域フォーラム

第１回、金沢で開催

中小企業基盤整備機構欷中小機構欷北陸支部と大阪証券取引所歉大証歐が主催する欷第1回ＪＡＳＤＡＱ北陸フ櫻欟ラム飲が６月焙日欷金沢市昭和町のＡＮＡクラウンプラザホテル金沢で開かれ欷石川欷富山欷福井3県の中小企業経営者や金融機関などから約燎人が参加した＝写真盜中小機構と大証は中小・ベンチ櫑欟企業への支援を促進する業務連携・協力覚書を締結欷その取り組みとして全国各地でＪＡＳＤＡＱ地域フ櫻欟ラムの開催を計画欷第1回を北陸で開催した盜

新興証券市場のＪＡＳＤＡＱは今年４月に大証が吸収合併盜瀾月瀝日には同市場のＮＥＯとヘラクレスを統合し欷上場企業１０００社を超える新ＪＡＳＤＡＱ市場となることにな樗ている盜

フ櫻欟ラムでは松本学・大証取締役副社長執行役員が主催者挨拶し欷欷新市場は時価総額1兆円のアジア最大の新興市場になる盜コンセプトに地域性と国際性を含めているので欷全国各地にネ蘗トワ欟クを持つ中小機構と業務連携し欷地域への取り組みを強化していく盜ＩＰＯ歉新規株式公開歐を通じて地域の活性化を支援していきたい飲と新市場誕生の意気込みを語樗た盜

欷新ＪＡＳＤＡＱ市場の創設＼北陸からアジア欷そして世界へ＼飲と題し欷村田雅幸・大証執行役員が新市場の制度説明を行樗た盜新ＪＡＳＤＡＱが誕生すると欷上場企業は全国各地にちらばり欷東京以外で燉％にのぼる盜業種は幅広く欷サ欟ビス・情報通信以外で3分の2を占める盜村田氏は相場の格言欷人の行く裏に道あり花の山飲を紹介し欷欷質欷量ともにアジア・ナンバ欟1を追求する飲と断言した盜

そして新市場は欷一定の事業規模と実績を有し欷事業の拡大が見込まれる企業群飲欷総合展を開催しビジネス・マ蘗チングを促進している飲と説明した盜

欷3県対抗!企業自慢・御国自慢大会飲には欷ＪＡＳＤＡＱ上場の3企業が登場盜タイに狎店など国内外に２４９店のラ欟メン店チ櫪欟ンを展開する欷ハチバン飲歉金沢市歐の酒井守一・取締役管理部長がト蘗プで話した盜続いて欷プラスチ蘗ク成形品事業で中国欷タイなど海外に7社の子会社を展開する欷タカギセイコ欟飲歉富山県高岡市歐の笠井千秋・代表取締役社長と欷総合プレスメ欟カ欟で欧米欷アジアに拠点をもつ欷エイチアンドエフ飲福井県あわら市歐の菊池博・取締役総務部長がプレゼンテ欟シ欟ンした盜

フ櫻欟ラム後の交流会では岡崎英治・中小機構北陸支部長が乾杯の発声盜@３％経済Ａといわれる北陸地方について欷上場企業数はまだ２・４％盜まだまだ上場するパワ欟を秘めている盜1社でも多く上場できるよう欷地域活性化のためにもがんばろう飲と挨拶し欷参加者が懇親を深めていた盜

中小企業総合展2010 in Tokyo 出展者を募集

11月10日～12日、ビッグサイトで「ベンチャーフェア Japan」同時開催

前回開催の欷中小企業総合展２００９ 橄Ｔｏｋｙｏ飲会などの後援で欷@未来をみつめ欷明日につなぐＡをテ欟マに開かれる盜

経営革新などの果敢にに取り組む中小企業やベンチ櫑欟企業が欷自ら開発した新商品欷サ欟ビス欷技術などを一堂に展示することにより欷販路開拓業務提携とい樗た企業間の取引を実現するビジネス・マ蘗チング促進することを目的に開催する盜

今回は欷欷ベンチ櫑欟フ櫪ア飲との同時開催のため欷例年より多い中小企業・ベンチ櫑欟企業約７００小間と中小企業支援機関約犖小間の出展を見込む盜

出展料は欷１小間瀾間口３・０陰×高さ２・７陰歐瀾万５０００円欷税込み歐盜中小企業は最大２小間欷ベンチ櫑欟企業は１小間盜

問い合わせ＝中小企業総合展事務局瀾甘０３・５６４４・７２６８歐ttp://sougouten.smrj.go.jp/outline.html

出展募集は欷一般公募で北海道から沖縄まで全国の製造業からＩｍｌ

「ＢＯＰビジネスのフロンティア」経済産業調査会が刊行

世界人口の約７割 ５兆ﾄﾞﾙ市場に焦点

出所）「THE NEXT 4 BILLION(2007 World Resource Institute, International Flance Corporation)」、「ソーシャルイノベーションの経営戦略（野村総合研究所）」より経済産業省作成

○歓世界人口の約膚Ｅｃｏｎｏｍｉｃ Ｐ焦点を当てた欷ＢＯＰｙｒａｍｉｄ歐層飲歉年間所得３０００宇以下の低所得階層歐に注目され欷世界的にビジネス飲が欷世界の市場規模は欷日本の実質ＧＤＰの約３倍に匹敵する約５兆宇との試算もある＝別図参照盜こうしたＢＯＰビジネスに真正面から取り組んだ経済産業調査会から刊行された盜第１部は欷経済産業省のＢＯＰビジネス政策研究会歉座長＝勝俣宣夫・日本貿易会会長歐・同ＷＧ歉座長＝水尾順一・駿河台大学大学院経済学研究科教授歐がまとめた報告書が掲載されている盜

○歓報告書では欷わが国企業によるＢＯＰビジネス参入を支援すべき重点分野として欷機教育帰保健医療・福祉毅水・衛生気農林水産業汽食料・栄養畿環境エネルギ欟機器祈家電電器・産業機械季情報・通信稀金融・フ櫟イナンス紀運輸・輸送機器―の瀾分野をあげている盜重点地域は欷ＢＯＰ人口約煖億人のうち約煖億人がアジアであることを踏まえ欷欷アジアに重点を置きつつも発展途上国を広く対象とし欷具体的な案件ごとに判断する飲としている盜

○歓第２部では欷ＢＯＰビジネス関連調査として欷機欷欧米企業による先行事例調査飲歉ユニセフ物資供給センタ欟欷国連難民高等弁務官事務所欷世界保健機関―の５機関歐毅欷途上国ＢＯＰ層の潜在ニ欟ズ調査飲歉インドネシア欷ングラデシ欒欷インド歐気欷提案公募案件にかかるＦ／Ｓ調査歉味の素欷ニ欟欷テルモなど９社・団体歐―の調査結果の概要を掲載している盜

経済産業調査会歉東京都中央区銀座２ノ８ノ９歐刊欷単行本２４９ペ欟ジ欷定価２２００円歉税別歐

経営自己診断システム
貴社の財務データを入力するだけで、すぐに財務上の問題点が把握できます。
利用料無料　登録不要　社名等の入力不要
URL http://k-sindan.smrj.go.jp
中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構

中小企業のお助け情報満載

◇支援情報・機関を知る　毎日更新!全国の公的資金・支援情報データベース
◇事業を広げる　多彩なテーマの企業事例が3000件以上
◇起業する　創業・ベンチャーガイドが貴方の起業を支援
◇経営をよくする　500件以上のビジネスQ&Aで瞬時に問題解決
◇製品・技術を開発する　ビジネスを変える製品情報や技術開発のヒント
◇ニュースを見る　中小企業の経営に役立つ最新ニュースを毎日配信

中小企業ビジネス支援サイト
J-Net21
URL http://j-net21.smrj.go.jp

多数の企業が活用しています。
●運転資金を公的融資で調達!
●RoHS指令など海外状況の把握!
●新製品開発・販路拡大などで国の支援策を確認!
●多彩な企業の事例紹介でビジネスヒント!
●毎日更新・情報無料・メルマガ配信!
●人材育成の為のセミナー・イベント情報!

とっておきの公的情報があなたの企業をバックアップ!
中小企業支援　検索

おすすめ1 農商工連携パーク
農林漁業と商業・工業のビジネス連携、新事業へのヒントがいっぱい。

おすすめ2 ここが知りたいRoHS指令&REACH規則
欧州・中国・韓国の「RoHS指令」や「REACH規則」に関する情報、Q&Aが満載。

中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル ☎03・5470・1519
●がんばる中小企業なんでも相談ホットライン 0570-009111
（受付時間：平日午前9時～午後7時　土曜午前10時～午後3時）